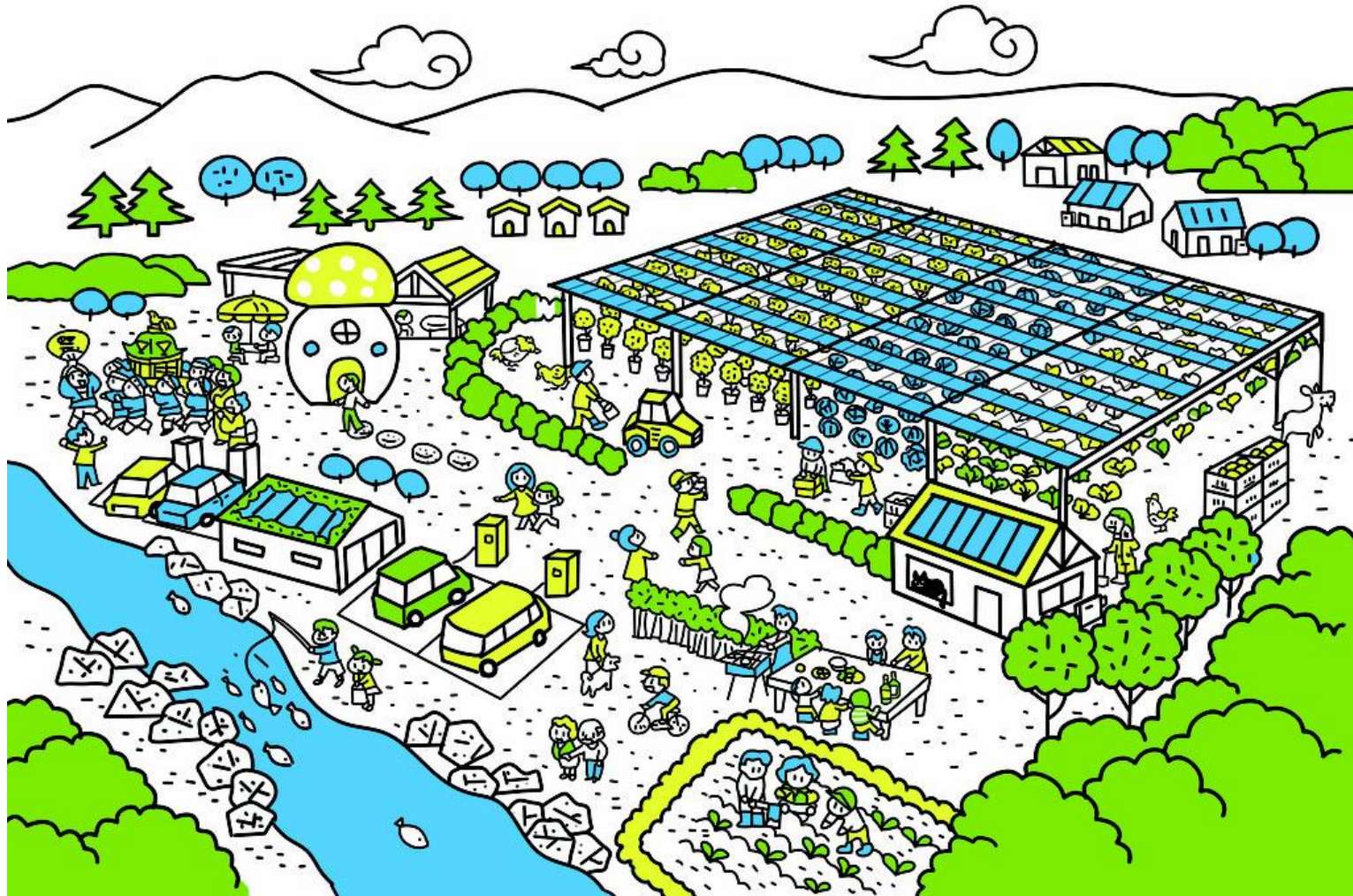


環境配慮型再エネ×脱炭素農業＝地域再生

ソーラーシェアリングの本質的な理念と地域農業振興への可能性



【環境配慮型再エネ導入の3テーマ】

- ①生態系との調和＋再生
- ②地域社会⇒課題解決
- ③全国/世界⇒一般化/発展/応用化

より環境負荷の少ない
再エネを創り出す！



市民エネルギーちば株式会社

MIN×ENE

会社概要

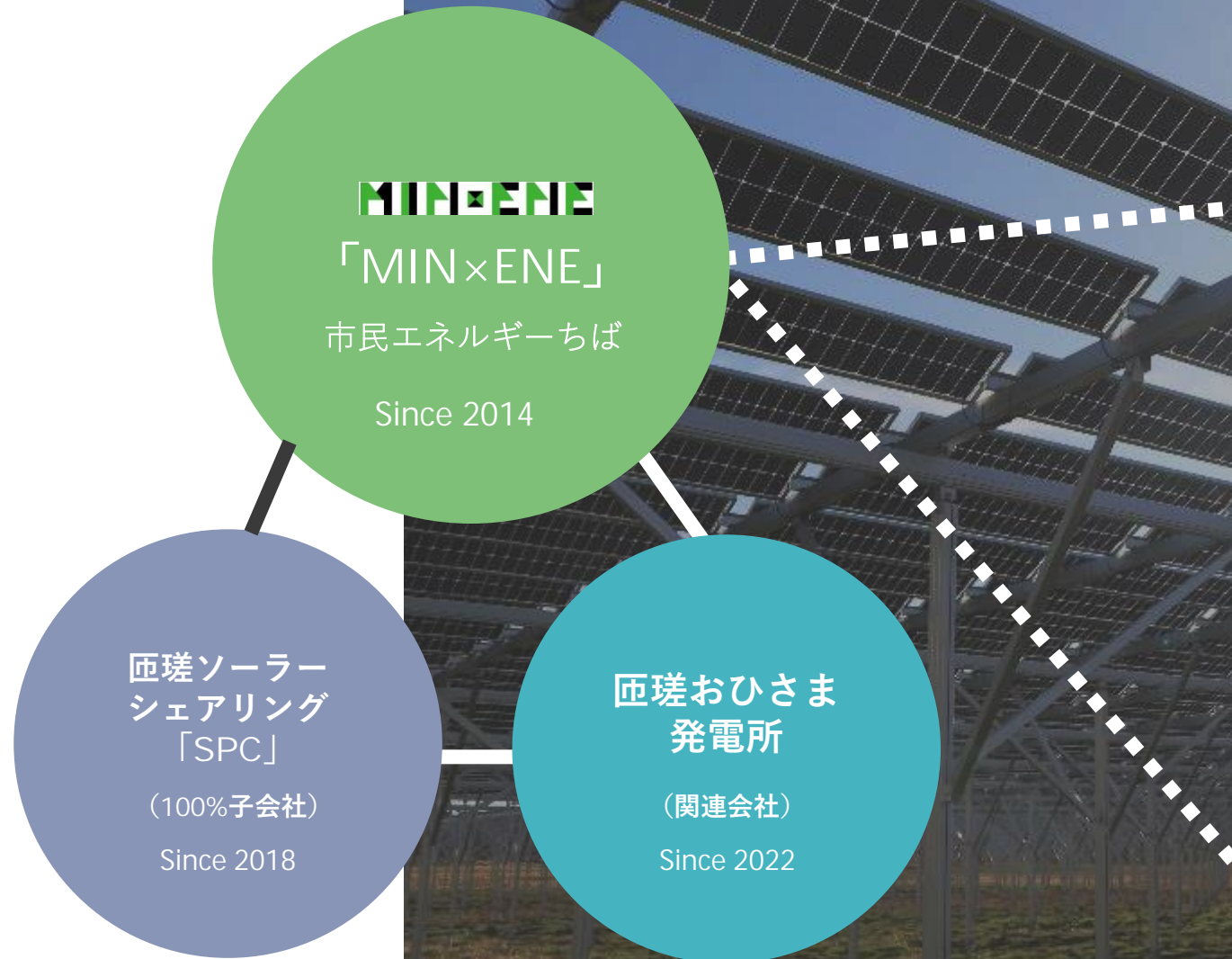
会社名	市民エネルギーちば株式会社 (Citizens Energy Chiba (MIN-ENE))		
設立	2014年7月2日		
代表者	代表取締役 東 光弘		
資本金	2,400万円 (2024年4月現在)		
従業員	15名		
所在地	千葉県匝瑳市飯塚1037-1 (本社)		
役員	代表取締役	東 光弘	
	共同代表取締役	椿 茂雄	
	専務取締役	宮下 朝光	山内 猛馬
	監査役	林 利江	

事業内容

- ソーラーシェアリング (以下、SS) による
市民共同発電所の自社設備建設・運営
- パネルオーナー制度を活用した市民共同発電所の運営
- SS・市民発電所に関する施工・管理・運営・リース・コンサルタント業務
- SSに関する機器/システムの製造・販売・開発
- 市民共同発電所、SS、環境問題、地域おこしに関する
イベント・セミナー・見学会などの企画運営
- SS普及のための農産物の生産・販売、農作業の委託・斡旋



全体スキーム概要



全国+海外



Since 2021

株式会社TERRA

- 日本全国/海外展開・商品開発
- 「ペロブスカイト」
(フィルム型太陽電池)



Since 2022

株式会社ソーラーシェアリング 総合研究所 (IRISS)

- 基礎研究・コンサル

地域&農業団体

農地取得適格法人/耕作

- Three little birds
Since 2015
- 匠瑛おひさま畑
Since 2021

- 豊和村づくり協議会
Since 2018

地域貢献・域外への波及効果

【地域振興】

すべてのSS設備から、売電収入の約10%を地域に還流させ、地域課題を解決することができ始めている。〈**匠瑛システム**〉

※次ページで説明あり

- **耕作委託料**：20haの農地の耕作を地域の2農地取得適格法人に委託。これまでに16haの耕作放棄地を農地として復活させた。
- **寄付金拠出**：「**豊和村づくり協議会**」に寄付金を拠出。自然環境保護や子ども教室、新規就農者支援など、住みやすい地域づくりをする活動に活かされている。
- **固定資産税**：発電設備群の固定資産税は匠瑛市の税金になり、地域財政に貢献。
- **農地の賃料**：発電事業者から農家へ毎年年間の賃料を支払っている。
- **関係人口の増加**：イベントをはじめとする機会をつくり、市外から関わってくれる人を増やす。

【雇用】

SS設備下で行う耕作を地元の農地所有適格法人に委託。安定した耕作委託金が得られることにより、経営計画が立てやすくなり、農業に挑戦したい人を雇用でき、農業を支援することができる。

【波及効果事例】

- **ソーラーシェアリングアカデミー**
ソーラーシェアリングを軸に多面的な学習の拠点となるアカデミーセミナーやインターン等を通じて総合的に実践できる人材の育成を目指す
- **脱炭素先行地域との地域間連携協定を締結**
匠瑛市と同じく脱炭素先行地域に選出された滋賀県米原市、新潟県関川村、熊本県あさぎり町と地域間連携協定を締結し、SSを中心に協力していくことが決まっている
- **オフサイトPPAを活用し、匠瑛のSSで作られた電気を他の自治体に送る**



匠瑛システム ～シェア&オーガニックをテーマに連携～

売上の約10%が地域再生に還流

